

一宮商工会議所
中小企業委員会

1. と き 2019年7月16日(火) 10:00～11:00

2. と ころ 一宮商工会議所 4階小ホール

3. 議 題 (1) 公的研究機関の活用と事例紹介について

講師：国立大学法人 名古屋工業大学 産学官金連携機構

産学官連携コーディネーター 梶川 秀親 氏

(資料1)

(2) 所管事業の報告について

(資料2・3)

(3) その他

新たな価値の創出を目指した 名古屋工業大学・産学連携の取組み



一宮商工会議所 産学連携セミナー 2019.07.16/22

名古屋工業大学 産学官金連携機構

産学官連携コーディネーター 梶川秀親

名古屋工業大学 産学官金連携機構

■ 名古屋工業大学

《開発・実学の名工大》

日本のものづくり・商業の集積地である愛知県において、本学は110年の歴史を有しており、地域産業の発展に貢献することを使命に教育・研究活動を推進しています。そのため、本学の教員の産学連携に対する意識や貢献度は非常に高い。

■ 産学官金連携機構（10月～旧：産学官連携センター）

本学の産学官連携活動の中核的組織として、産業界との窓口役を担う産学官連携センターは2017年10月、大型基盤設備センターを統合し産学官金連携機構へと組織変更しました。



機構長：江龍修 副学長
渉外部門／事業創造・人材育成部門／
設備共用部門

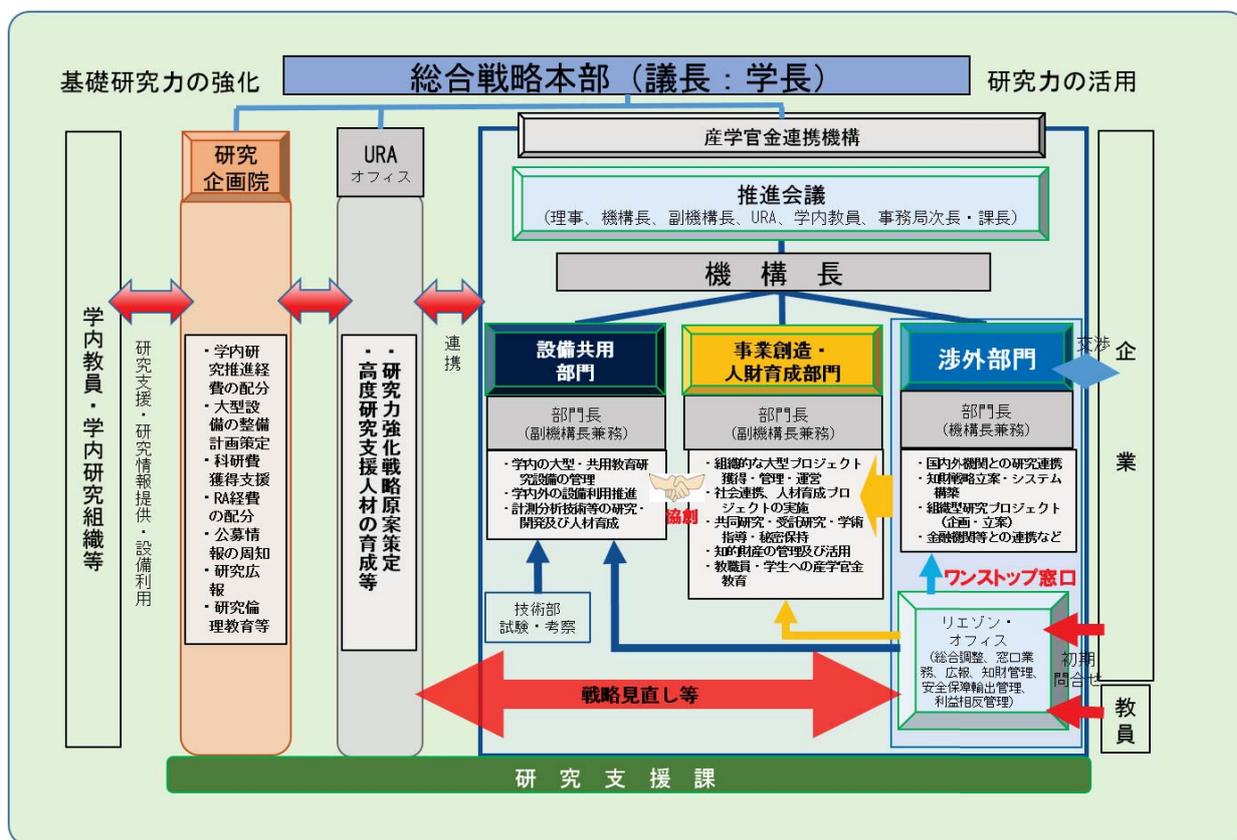
専任教員 矢野卓真 准教授

産学官コーディネータ 10名

知財マネージャー 1名

研究支援課：事務職員 総勢40名弱

組織力と提案力、柔軟な対応プロセスによって多くの産学連携の実績を有している



※産学官連携センター及び大型設備基盤センターを廃止し、新たに産学官金連携機構を設置。

■ 平成27年度 名古屋工業大学 共同研究の実績

➤ 受入額の伸び率：全国4位 約16.2%

➤ 共同研究受入れ件数

：全国20位 / 257件

➤ 共同研究受入れ金額

：全国14位 / 58,751万円

➤ 同一県内企業及び地方公共団体との共同・受託研究実施件数

：東海地区2位 / 125件

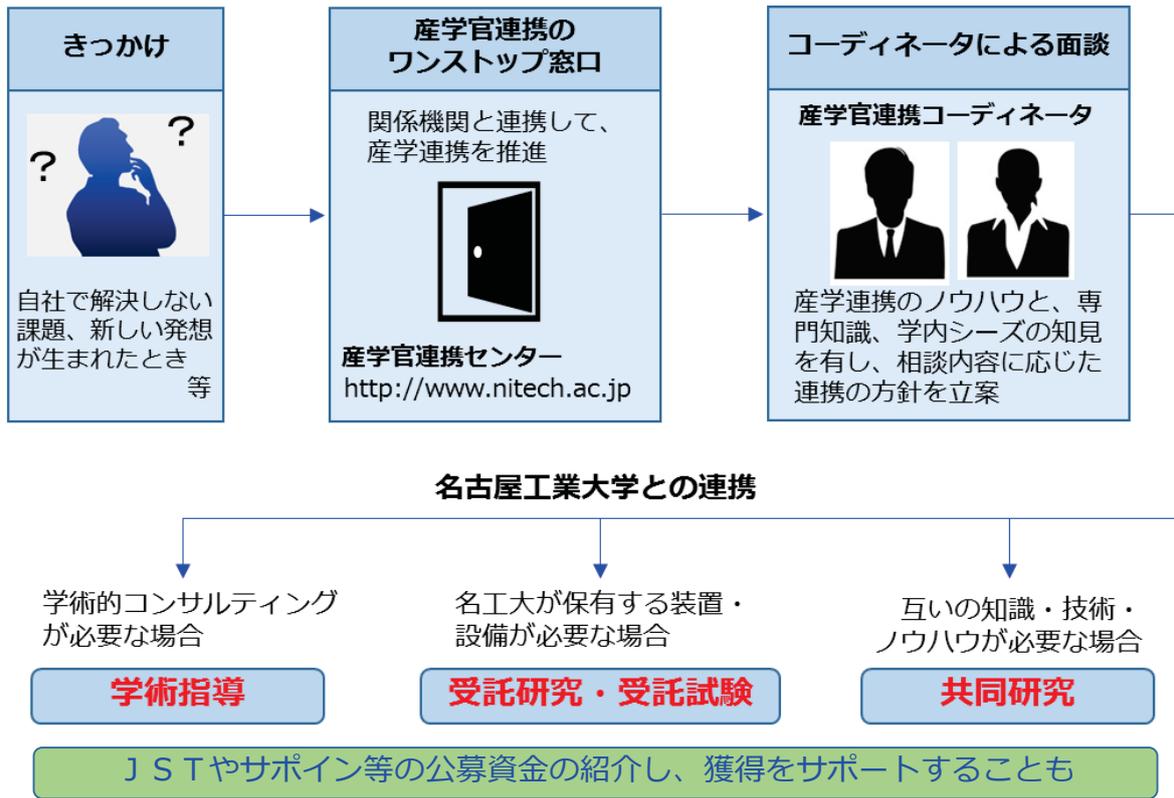
⑤東海地方

(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)

No.	機関名	件数	受入額	所在地	区分
1	名古屋大学	246	1,003,089	愛知県	
2	名古屋工業大学	125	262,755	愛知県	
3	三重大学	115	132,933	三重県	
4	岐阜大学	82	90,255	岐阜県	
5	静岡大学	78	114,630	静岡県	
6	豊橋技術科学大学	71	109,740	愛知県	
7	中部大学	42	104,036	愛知県	私
8	名城大学	34	35,601	愛知県	私
9	静岡県立大学	32	52,391	静岡県	公
10	豊田工業大学	31	170,431	愛知県	私

全国でも上位クラスの共同研究受入れ実績

産学連携の進め方 ～名工大の活用方法～



まずは産学官金連携機構へご連絡ください

産学連携の基本メニュー

初回無料

科学技術相談

企業等からの科学技術相談に応じ、コーディネータが相談内容に適切な教員との面談日程を調整や、連携メニューの提案を行う。
メリット：適切な産学連携の推進

学術指導

教員の専門知識に基づく、指導・助言を行い、委託者の業務や活動を支援する。
メリット：「学術的な裏付け」の取得、「評価・分析手法」の獲得など
知財の取扱い：公知の事実・知見に基づく指導

共同研究

共通の課題について、企業の研究開発力と大学の研究技術を組み合わせ、相乗効果によって、優れた研究成果を生み出す。
メリット：新技術の見極め、商品開発の効率化など
知財の取扱い：大学と学外機関等で共同で出願

受託研究・受託試験

民間企業等からの委託を受けて、研究または分析・試験等を実施し、その成果を委託者に報告する。
メリット：データ取得の効率化、コストダウンなど
知財の取扱い：大学に帰属

分析・データ測定

知的財産権の使用

幣学が蓄積した研究成果を、特許、ノウハウ、ソフトウェアなどをライセンスまたは譲渡の形で提供する。
メリット：商品開発の効率化など

技術相談申込について

名古屋工業大学 産学官金連携機構HP

- ⇒産学連携について
- ⇒⇒科学技術相談
- ⇒⇒⇒相談申込書フォーム

*ダウンロード・記入の上
お申込み下さい。

トップページ
ココから ココから

実例: 機械設計(流体)、電気回路設計(熱)、
メカ制御、画像処理、製品デザイン、
生産管理・品質管理、etc



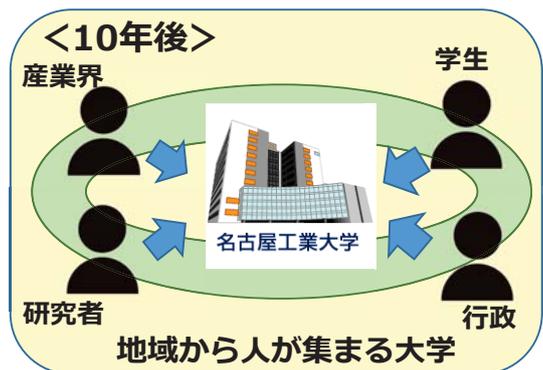
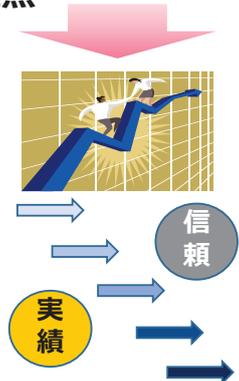
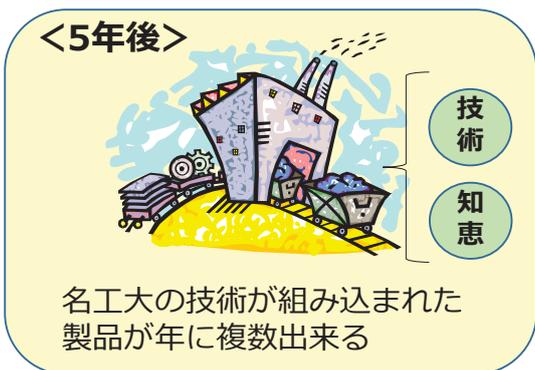
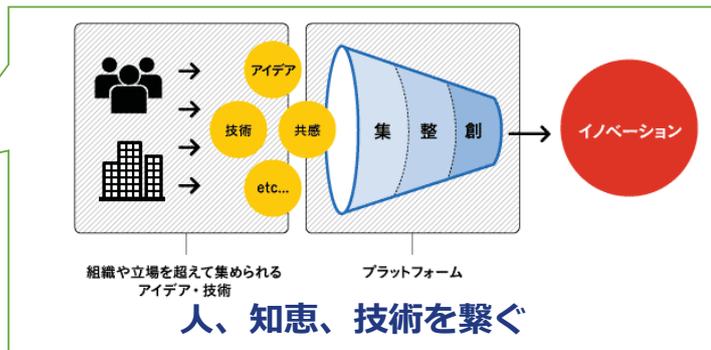
名古屋工業大学 産学官金連携機構

理想的な名工大像



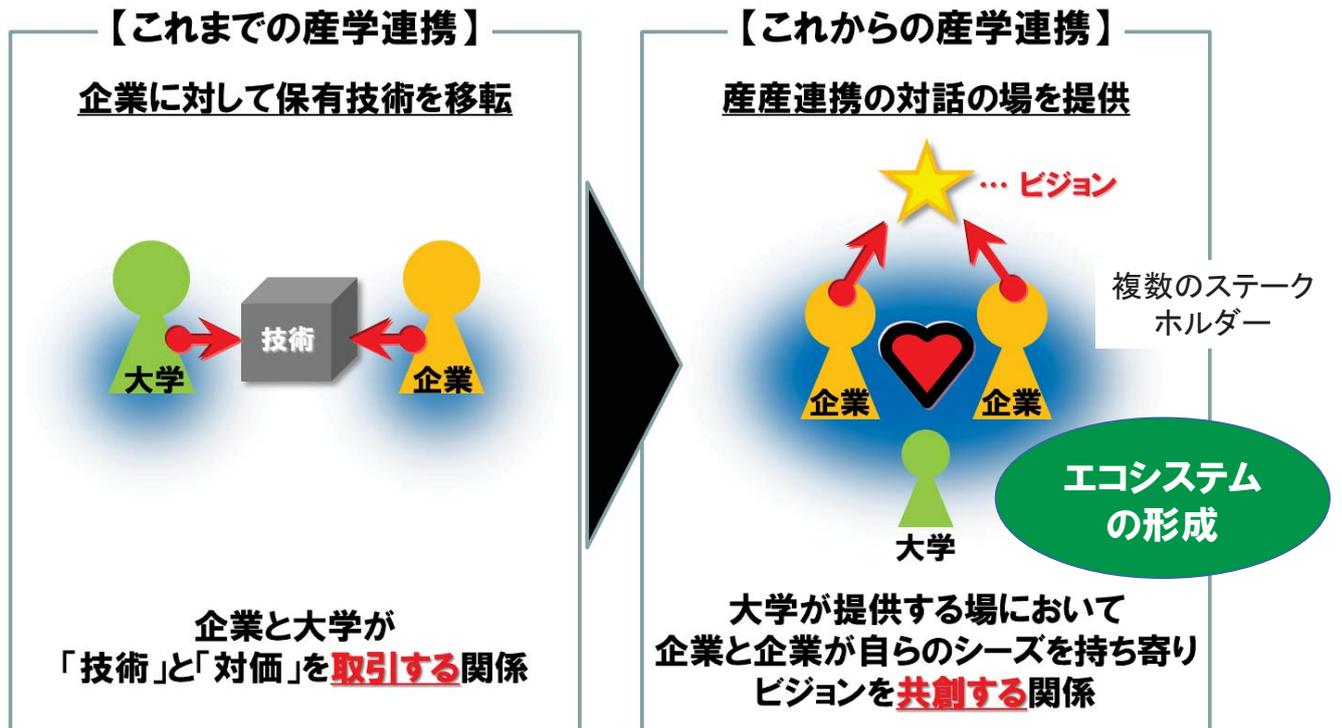
名古屋工業大学

地域の総力を結集して、
“ものづくり支援”を推進する拠点



共創を推進する“連携体制”や“場”の構築が重要

これからの産学連携の姿（方針）



産産連携の企業と利害関係のない名工大が入ることで、“共創の場”を提供

技術紹介動画（YouTube）

名工大テクノロジーチャンネル(YouTube) で検索(又は機構HPから)

YouTube 検索

名工大テクノロジーチャンネル

チャンネル登録 12

【名工大テクノロジーチャンネル】雪をレンジでチン！

視聴回数 156 回 3 週間前

冬、特に降雪が多い地域では除雪作業は重要な課題です。雪が降れば雪かきが必要ですが、非常に重労働で、最近では死に事故も起きるなど安全性にも問題があります。一方、融雪するという方法がありますが、従来の融雪方法はコストや環境への影響などの課題がありました。そこで、コストや環境への配慮を考慮した新しい融雪方法が研究されています。その方法は「雪をレンジでチン！」。さあ、いったいどんな方法で雪を溶かすのでしょうか？

もっと読む

人気のチャンネル

- はじめしゃちょー... チャンネル登録
- Fischer's-フィッ... チャンネル登録
- ジョーブログ【金... チャンネル登録
- 東海オンエア... チャンネル登録
- ヒカル (Hikaru) チャンネル登録
- Kan & Aki's CHANN... チャンネル登録

最近のアップデート

- 【名工大テクノロジーチャンネル】音段のおしゃべりの声で認...
- 【名工大テクノロジーチャンネル】人工の天然鉱物！?
- 【名工大テクノロジーチャンネル】雪をレンジでチン！

技術紹介動画 (YouTube)



【名工大テクノロジーチャンネル】人工の天然鉱物!?

名工大テクノロジーチャンネル
チャンネル登録 12



【名工大テクノロジーチャンネル】雪をレンジでチン!

名工大テクノロジーチャンネル
チャンネル登録 12

視聴回数 156回

<掲載中の技術シーズ>

- 無焼成セラミックス/橋本忍 先生
- 準マイクロ波による融雪モルタル/伊藤洋介 先生
- 認知症早期スクリーニング/加藤昇平 先生

など計6シーズを紹介中

名古屋工業大学 産学官金連携機構

名工大テクノフェア2018 11月1日(木) 開催

喜び・驚きの価値実装による 次世代イノベーション エコシステムの共創

未来社会を支える新しいプラットフォームであるSociety5.0の実現に向け、センサーやIoT・情報・AI・ロボティクスなど様々な技術がシームレスに繋がる社会への研究を紹介

日時:2018年11月1日(木)

場所:名古屋工業大学 新講堂

<特別講演> 小坂 和夫 氏

諏訪圏ものづくり推進機構

国立大学法人 名古屋工業大学

名工大 テクノフェア2018

喜び・驚きの価値実装による
次世代イノベーションエコシステムの共創

参加費
無料

2018年11月1日[木]

10:00~17:00
御器所キャンパス内 NITech Hall

特別講演 13:00~14:05
NITech Hall 5F

13:00~13:05 学長挨拶
13:05~14:05 特別講演
「見えないものづくり 諏訪ブランドものづくりの挑戦」
NPO法人 諏訪圏ものづくり推進機構 実行理事 小坂 和夫 氏

2018テーマ【 喜び・驚きの価値実装による 次世代イノベーションエコシステムの共創 】



■暮らしに
おける喜び・驚き

情報・通信・バイオ・人間工学・医工連携



■まちづくりに
おける喜び・驚き

ロボット・IoT・建築・環境力学



■ものづくりに
おける喜び・驚き

メカトロ・金属材料・セラミック・高分子



■喜び・驚きを
支える基板技術

機械学習・AI・材料工学(有機無機)
・エネルギー

名工大テクノフェア・2019 開催予告

テーマ【 心豊かな未来社会の創造 】

開催日：11月1日(金)10:00~17:00

会場：名古屋工業大学 NITech Hall 1階及び2階

<プログラム>

12:30~15:30 基調講演/パネルディスカッション

テーマ：『“AI × 製造業” がもたらす未来社会』(仮)

・札幌市立大学・学長 中島 秀之 先生

・理化学研究所 革新知能統合研究センター
センター長 杉山 将 先生

10:00~17:00 シーズ紹介ポスター展示

● 産業用ロボット導入促進事業

H28-H29年度：中部経済産業局 「産業用ロボット活用促進ネットワーク形成事業」
 H30年度：名古屋市事業
 令和元年：愛知県事業

中小製造業向け 産業用ロボット導入支援講座 生産現場で産業用ロボットの導入・活用をお考えの方に

生産性の向上

品質の安定化

人手不足の解消

競争力強化

講座概要 ☆開催予定：平成29年9-10月・平成30年1-2月

中小製造業の皆様向けに、産業用ロボットの導入を支援する講座を開催しています。

- ① ロボット導入の基礎知識と導入事例を学びます。
- ② 自社の生産現場へのロボット導入の具体的な検討についてアドバイスします。
- ③ ロボットメーカーのショールームで最新のロボットや技術を学んでいただきます。
- ④ ロボットメーカー、ロボットSlerとの相談会を開催します。
- ⑤ ロボット導入に活用可能な公的支援等についての説明を行います。

平成28年度講座開催風景



例題演習のグループワーク



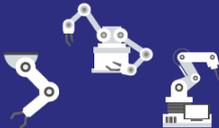
グループワークの発表



ショールーム見学

★ ロボットメーカーやロボットSlerに導入提案を依頼するための提案依頼書を作成できるようになります。

★ 提案依頼書を基に、複数のロボットメーカー、ロボットSlerに相談・見積依頼まで行うことができます。(講座最終日)



産業用ロボット導入 ガイドライン

これから製造現場への
ロボット導入をお考えの方に

円滑に導入の検討を進めるための
手順と検討項目

平成29年3月
経済産業省 中部経済産業局
名古屋工業大学 産学官連携センター

1 はじめに

(1) 本ガイドラインの狙いと位置づけ

- 本ガイドラインは、産業用ロボット活用ノウハウを身につけたい意欲的な中小企業を支援する目的で作成しました。
(難しい作業を求めている箇所もあります。自ら調べてトライすることをお勧めします。)
 - 産業用ロボット導入のステップ(手順)と検討項目をとりまとめたものです。
 - 本ガイドラインに沿って検討を進めることで、ロボットSler、ロボットメーカー等に提示する提案依頼書(RFP=Request For Proposal)を作成することができます。
- ※ロボットSler:産業用ロボットを使用した生産システムの構築を担う事業者、エスアイーと読みます。

産業用ロボットは、一般的に以下の手順で導入されます。



(2) ロボットシステムとは

産業用ロボットを活用するには、工程全体を設計し、ロボット・周辺装置・プログラムを組み合わせることでロボットシステムとして構築します。こうした役割は、多くの場合、ロボットメーカーとロボットを導入しようとする企業の間に入るロボットシステムインテグレータ(ロボットSler)などが担っています。



* こちらのガイドラインは中部経済産業局のHPからダウンロード可能です。

【技術シーズ紹介】

一部から抜粋

(パワーエレクトロニクス/ロボット/画像処理/生体規範工学 etc)

B2

実運用経験に基づくレスキューロボットと遠隔操作システムの開発

電気・機械工学専攻 助教 佐藤徳孝・教授 森田良文

実運用経験



東日本大震災における現場での活動



島根原子力発電所での運用実験

評価試験



ロボカップでの機能評価

研究内容

機体開発



車輪型

自律移動制御の検証



クローラ型

不整地走行用機体



脚型

小型化と作業性の両立

自律制御

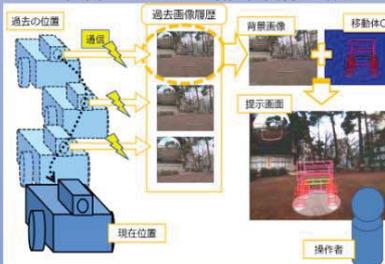


冗長移動マニピュレータの障害物回避走行

遠隔操作システム

仮想的俯瞰画像提示システム

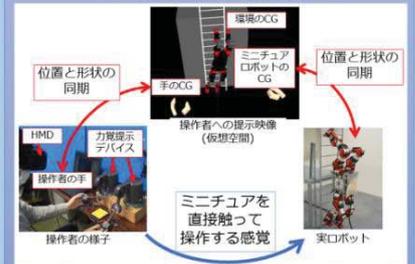
低通信帯域でも
単眼カメラから俯瞰映像生成



走行中に撮り貯めた過去の画像上に
ロボットCGを重ねて描画

仮想マリオネットシステム

仮想空間内の
ロボットCGに触って操作



実ロボットとロボットCGの位置/形状を同期
操作者の手と手CGの位置/形状を同期

■ 理想

ロボットによる完全自動化が困難な非定型の作業を人とロボットが協調することで効率的、安定的に行う
 適用例・・・特定の製造工程の作業を補助するロボット、介護用・ホームロボットへの組み込み

■ 問題

対話に利用する言語知識(単語, 文法など)を事前に定義すると、**利用者や作業環境によって異なる言語表現に対応できない**

■ 解決策

ロボットが人とインタラクションを通して言語知識を自動的に拡張

■ 例：車両外観検査ロボット(デモ展示)

レンタカー、中古車販売を対象とした車両の外観検査ロボット

- ・ タッチパネル／音声による操作
- ・ 車両側面を検査可能
- ・ 長さ 2 cm 程度のキズ・凹みを検出
- ・ 未知の言い回しを学習

キズ・凹みの検出処理



撮影画像



切り出し



強調・検出

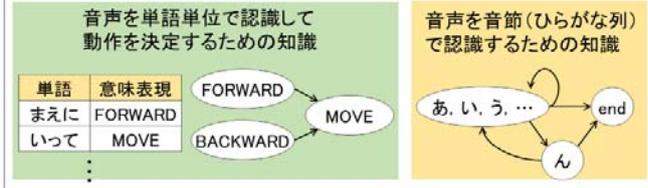


ロボットの構成

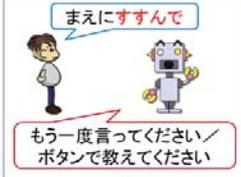


■ インタラクションを通じた語彙獲得

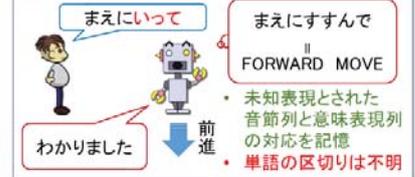
1. 事前を与える言語知識



2. 未知の表現を検出
→ 再発話／直接入力を要求



3. 既知の表現／直接入力
→ 動作後に学習データを登録



4. 教師なし形態素解析
音節列集合の統計情報

5. 形態素の結合

文法知識と意味情報(形態素と意味表現の共起確率)を用いて単語区切りを推定

まえ / に / す / すんで

FORWARD MOVE

各意味表現に対応した単語が得られる

6. 単語の登録

音響的に有用な単語のみを新規語として辞書に登録

単語	意味表現
まえに	FORWARD
いって	MOVE
すすんで	MOVE

利用者独自の表現を追加登録可能!

【事例紹介】

●名工大との共同研究による
商品化・製品化

●名工大共同開発事例:私のミミ(補聴用具)



私の
ミミ

聴こえを助ける
補聴耳カパー
テレビ視聴・室内用

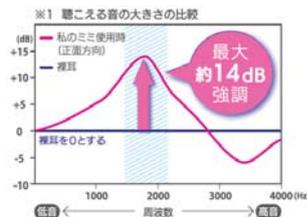
言葉がはっきり聞き取りやすい!

「私のミミ」は電源を使用せず、共鳴作用により聴こえを補助します。



私のミミの効果

私のミミは聞き取りやすい1800Hz~2000Hz周辺の音を頂点として、正面方向からの音に対して最大約14dB、全方向を平均して最大約11dBの強調効果が確認されました(※1)。今ある聴力を生かし、自然な音で聴こえを助けます。



聴こえについて

私たちの声は高い音や低い音、様々な周波数の音が重なり合っています。高い音が聴こえにくくなると、「声は聴こえてるのに、何を言っているかわからない」まるで言葉がぼやけたように聴こえてしまいます。私のミミは聞き取りやすい高音を強調し、言葉の輪郭がはっきりしたように聴こえます。



- 今ある聴力を活かす**
聞き取り可能な高音域(1800Hz~2000Hz)を強調します。
- 簡単装着**
面倒な設定や調整は必要ありません。耳に掛けるだけで、すぐに使用できます。
- 本来の自然な音**
音の距離感・方向性が分かります。
- 少ないストレス**
耳穴をふさがず、軽量・軟質で、長時間装着しても疲れにくいです。
- 丈夫で長持ち**
落したり、曲げたりしても壊れにくく安心・安全。

- ・(株)テクノ・マイス
- ・(株)中部デザイン研究所
- ・名古屋工業大学 情報工学 黒柳奨 准教授

私のミミは電源を使用せず共鳴作用により聴こえを補助する。今ある聴力を活かし、高齢者が聞き取りづらい2000HZ周辺の周波数の音を強調します。

●名工大共同開発事例:無動力歩行支援機器ACSIVE (アクシブ)

無動力の歩行支援機 ACSIVE (アクシブ) [ACSIVEについてのお問い合わせ](#)
0564-64-2773



ACSIVE 無動力の歩行支援機

弱った歩きの調子を整えます。

モーター・バッテリーを使いません。
重力とバネの力だけ!

安心・安全

人との親和性

シンプル・軽量で歩行に同調した動き。

簡単

かんたん装着 充電いらず。

★2015年 グッドデザイン賞受賞

電気やモーターなどを使わず、バネと振り子の動きが作用し足の振り出しをアシストします。

歩行に同調した動きで、自然に自力の歩行に導く緩やかなアシストを行います。
*立ち上がりや、体重を支える力はありません。



装着時の足を着地し、体重を前に進める際、ヒップユニットのバネを締め、力を蓄えます。

特徴

シンプルな構造で、本体重量も約550g(片脚用)と軽量。モーターがないので、歩行中も静か。バッテリーがないので、充電不要。簡単装着、2本のベルトを締めるだけ。

ご使用について

- ・膝や足首を支える機能はございません。現在安全に自立歩行ができる方を対象としております。
- ・転倒の危険がある方は、別途転倒防止をして下さい。
- ・ご使用にあたっては、医師やリハビリの専門家に相談の上、ご検討して頂くことをお勧めしております。

名古屋工業大学と今仙技術研究所の共同開発で誕生しました。

無動力歩行支援機器ACSIVE(アクシブ)は、名古屋工業大学 佐野明人教授が10年以上研究・解明して「受動歩行」理論に基づいて作られました。電気やモーターなどを使わず、振り子の動きとバネの動きを利用して、足の振り出しをアシストします。モーター・バッテリーの必要がなく、本体重量も550g(片脚用)軽いのも特長です。ぜひ試着会で無動力歩行支援機器ACSIVE(アクシブ)をご試着ください。

歩行支援機 ACSIVEって?

- ・(株)ナンブ
- ・(株)今仙技術研究所
- ・名古屋工業大学 機械工学 佐野明人 教授

人間の歩行の力学に基づいた、モーターなどの動力を必要としない無動力歩行支援装置。

企業と大学の共同研究によるメリット

- ・技術力の補完
- ・提案型商品開発
- ・新事業開拓
- ・新市場/ニッチ市場開拓

人材確保

■ 地域企業としてのブランディング

(社外:先進的取組/オープンな取組/
やりがいある取組をしている企業
社内:社員の誇りとモチベーション向上)

★Uターン/転職時の優秀な人材定着に貢献

【 まとめ 】

うまくいく共同研究のポイント【金融機関と企業へ】

★大学の技術シーズありきのスタートは×

★まず企業のニーズが先にあり、そこから大学のシーズを探す。⇒どんな市場で何を開発したいのか、そして何に困っているのか、その解決にどんなシーズが必要なのか明確にする。

★共同研究もギブ&テイク。受け身では△

★大学の役目：研究→効果の元を提供

企業の役目：商品化！企業が主体的に！

《うまくいかない例》

- なんとなく困っている、曖昧、もしくは思いだけ
- おいしい話はないか？、（覚悟が無い）

うまくいく共同研究のポイント【地域企業の皆様へ】

★主体性

何をどの様にしたいのか
(新商品開発なのか/
新規事業開発なのか)

主人公
=
地域企業

大学
=
支援・脇役

☆具体性

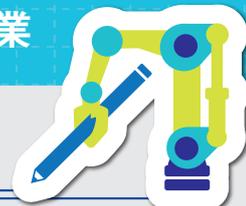
- ・ 自社の技術で何を活かせるのか (強味の分析)
- ・ 研究開発において何処でつまづいているのか
- ・ 何が原因/課題で何処まで自社できて、
- ・ 何処から大学のシーズで手助けするのか

最後に

名古屋工業大学は実務に強い技術者を養成する工科系大学として、産業界との交流や連携を重視し、社会に貢献できる実学を育んできました。これからも社会のニーズを先取りし、新しい技術をご提案し続けます。

また社会の価値並びにその価値を活かす場を皆様と共に共創していきたいと願っています。

是非、お気軽に名古屋工業大学を活用してください。



産業用ロボット 導入支援講座

生産性の向上

品質の安定化

競争力の強化

人手不足の解消

生産現場で産業用ロボットの導入・活用をお考えの方に

令和元年

令和2年

9月6日(金) ~ 1月29日(水)

受講費用 無料

※講座はこの期間内で、合計12回程度を予定しています。

講座概要

1. ロボット導入の基礎知識と他社の導入事例を通じて、ロボットの導入イメージをつかんでいただきます。
2. 自社の生産現場へのロボット導入の具体的な検討についてアドバイスします。
3. 導入のために必要な項目を検討して、ロボットメーカー、ロボットSlerへ提示する「提案依頼書」の作成をサポートします。
4. ロボットメーカー等のショールームで最新のロボットや導入事例を学んでいただきます。
5. ロボットメーカー、ロボットSlerとの導入にむけた具体的な相談会を開催します。

注) ロボットSler…ロボット・システム・インテグレータの略。ロボットエスアイアールと読む。ロボット導入の設計及び設置等を行う事業者。
注) 提案依頼書 (Request for proposal) …ユーザーがロボットメーカー、ロボットSlerに具体的なシステム提案を依頼するために作成する文書。
参考URL…「産業用ロボット導入ガイドライン」
<https://tic.web.nitech.ac.jp/wp-content/uploads/2017/04/産業用ロボット導入ガイドライン-1.pdf>

募集概要

- 受講対象企業 産業用ロボットの導入を計画・検討している愛知県内の中小製造業
※基礎的な内容が主となります。産業用ロボットの導入実績の有無は問いませんが、講座の内容は、導入実績のない、または導入実績の少ない企業を主な対象とします。また、これまでに同講座に参加されていない企業が優先されます。
- 受講対象者 製造部門の設備担当責任者、またはそれに準ずる方
- 募集定員 20社(1社1名に限ります。) ※原則、申込先着順です。

令和元年度 産業用ロボット導入支援講座 プログラム(予定)

※日程、内容、講師等は変更になる場合があります。

日程	時間	テーマ	講師	会場
9/6(金)	13:10～ 13:30	オリエンテーション	(事務局)	大学内4号館1階 産学官交流スペース
	13:30～ 16:30	生産現場とロボット導入の基本的な考え方を学ぶ ロボット活用の考え方と事例 ー デンソーでの導入事例を中心に ー	名古屋工業大学 教授 荒川雅裕 株式会社デンソーウェーブ 取締役 常務執行役員 長島良治 氏	
9/13(金)	13:30～ 16:30	産業用ロボット導入の実例とシステム構築の勘所	株式会社バイナス 常務取締役 永井伸幸 氏	大学内4号館1階 産学官交流スペース
		ハンド&チャックとロボット周辺機器について	株式会社近藤製作所 メカトロ機器営業本部 営業課 課長 金田康 氏 課長 小野卓哉 氏	
		次回例題演習に向けたオリエンテーション	株式会社バイナス 常務取締役 永井伸幸 氏	
9/19(木)	13:30～ 16:30	例題演習:グループワーク *ロボット導入に伴う、工程及びレイアウト変更検討 *検討結果の発表	株式会社バイナス 常務取締役 永井伸幸 氏 アドバイザー各社 ロボットメーカー、ロボットSler	大学内4号館1階 産学官交流スペース
9/27(金)	13:30～ 16:30	リスクアセスメントの基本的な考え方	IDECファクトリーソリューションズ 株式会社 取締役 川口システム事業本部 部長 鈴木正敏 氏	大学内4号館1階 産学官交流スペース
		提案依頼書(RFP)作成に向けたガイダンス		
10月～11月頃 各社が指定する日時		ロボットメーカー等による プレゼンテーションと最新事例紹介 (右記各社より2社以上を選択して受講)	ロボットメーカー等(50音順) ・川崎重工業株式会社 ・THKインテックス株式会社 ・株式会社デンソーウェーブ ・株式会社FUJI ・三菱電機株式会社	各社 ショールーム (現地集合・現地解散)
11/29(金)	13:30～ 16:30	産業用ロボット操作実習①	株式会社バイナス	愛知県立 愛知総合工科高等学校
12/6(金)	13:30～ 16:30	産業用ロボット操作実習②	株式会社バイナス	株式会社バイナス 教育センター
1/29(水)	13:30～ 16:30	相談会及びマッチング会(提案書・見積書等の依頼)	ロボットメーカー ロボットSler	大学内4号館1階 ホワイエ
		終了後、「まとめ・オリエンテーション」を予定しています。(1時間程度)		

募集内容

1. 受講対象企業：産業用ロボットの導入を計画・検討している愛知県内の中小製造業
2. 受講対象者：製造部門の設備担当責任者、またはそれに準ずる方
3. 受講条件：①代表者もしくは所属長が、本講座への出席に同意していること
②「**受講にあたっての確認書(※)**」に同意いただけること

(※)「確認書」とは

- ①全ての講座日程への参加
 - ②機密保持
 - ③安全への留意
 - ④交通費などの実費負担
 - ⑤受講アンケート調査への協力 など
- 以上の内容についてご了解いただき、代表者または所属長と受講者ご本人のご署名をいただきます。

4. 募集期間：令和元年7月3日(水)から7月31日(水)まで
5. 申込方法：「**受講申込書**」および「**受講にあたっての確認書**」を下記WEBサイトよりダウンロードし、必要事項をご記入の上、電子メールに添付してご送信ください。
WEBサイト：<https://tic.web.nitech.ac.jp/>から本講座案内へお入りください。
右のQRコードもご利用いただけます。
メール送信先：automa-seminario@adm.nitech.ac.jp
件名：「愛知県ロボット導入講座申込」
申込によって得られた個人情報とは適正に管理し、他の用途には使用いたしません。
6. 受講企業決定：8月7日(水)頃までに、電子メールにて受講申込者ご本人にご連絡いたします。



お問合せ先

国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構
Tel: 052-735-7349

E-mail: automa-seminario@adm.nitech.ac.jp URL: <https://tic.web.nitech.ac.jp/>

第 3 期アクションプラン 2019 年度中小企業委員会所管事業

会員サービス事業の強化

具体的事業	2019	2020	2021	所管
健康診断事業の実施 健康診断の仲介・補助	調査検討	500 人	750 人	中小企業委員会 【総務部】

創業支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
総合的な創業支援 継続的な創業相談と創業塾の開講	相談延べ件数：200 件 受講者数：20 人 創業者数：10 人	相談延べ件数：210 件 受講者数：23 人 創業者数：13 人	相談延べ件数：220 件 受講者数：25 人 創業者数：15 人	中小企業委員会 【相談所】

経営発達支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
巡回活動・窓口相談 巡回活動と窓口相談の実施	巡回：2,800 件 窓口：1,500 件	巡回：2,800 件 窓口：1,500 件	巡回：2,800 件 窓口：1,500 件	中小企業委員会 【相談所】
金融支援、財務・経営分析 マル経等の融資制度、財務分析	30 件	33 件	35 件	中小企業委員会 【相談所】
事業計画策定・フォローアップ 事業計画策定・フォローアップ支援	事業計画策定：50 件 フォローアップ：10 件	事業計画策定：55 件 フォローアップ：15 件	事業計画策定：60 件 フォローアップ：20 件	中小企業委員会 【相談所】
販路開拓支援 ビジネス会員交流会の開催	2 回：50 名	2 回：55 名	2 回：60 名	中小企業委員会 【相談所】
各種セミナーの開催 各種セミナー・相談会等の開催	20 回：300 名	20 回：330 名	20 回：350 名	中小企業委員会 【相談所】
各種公的制度申請支援 経営革新・経営力向上・持続化他	申請数：50 件	申請数：55 件	申請数：60 件	中小企業委員会 【相談所】

事業承継支援

具体的事業	2019	2020	2021	所管
事業承継支援 後継者人材バンク	マッチング数：1 件 累計登録者数：20 人	マッチング数：2 件 累計登録者数：25 人	マッチング数：3 件 累計登録者数：30 人	中小企業委員会 【相談所】

地域資源の活用

具体的事業	2019	2020	2021	所管
いちのみや食ブランド 認定事業・販路開拓	対外フェア・展示会出展 3 件	対外フェア・展示会出展 5 件	対外フェア・展示会出展 7 件	中小企業委員会 【相談所】

所管事業の報告について

2019年7月16日

一宮商工会議所 中小企業委員会

1

総合的な創業支援事業

■創業窓口相談

創業に関わる創業計画作成や経営・販路開拓・人材育成・財務の相談に対応。(昨年延べ296件)

■いちのみや創業塾の開催

❖市内で創業を志す起業家を対象とした創業塾を開催する。

開催日 2019年10月～12月 夜7回、昼4回の2コース

講師 office経営相談の森 代表 森 正樹 氏

■創業フォローアップセミナー

❖過去の創業塾参加者や創業間もない方を対象としたフォローアップセミナーを開催する

開催日 2020年2月

講師 office経営相談の森 代表 森 正樹 氏



2

事業計画策定・フォローアップ支援

経営指導員が専門家とともに、小規模事業者と面談し指導・助言を行い、今後の経営活動の指針となる事業計画の策定支援とフォローアップを行う。

【主な専門家】

中小企業診断士	岸田 邦裕 氏
〃	森 正樹 氏
〃	鳥巢 智嗣 氏
〃	高木富美子 氏
〃	菅野 守 氏 など

3

ビジネス会員交流会

会員相互の横のつながりを強くし、異業種交流を深めることを目的に年2回開催する。

<2019年度>

- ・ ITベンダーとの情報交換会

開催日 2019年6月19日(水)

内容 中小・小規模事業者のITニーズの確認、IT補助金の現状、当所のIT導入推進事業について

- ・ ビジネス会員交流会

内容 プレゼンテーション交流・名刺交換会

※年度内（2020年）に開催予定



4

各種商談会、展示会への参加支援

①アライアンスパートナー発掘市

愛知県内の22商工会議所が実施するホームページを通じた事前調整型のビジネスマッチング支援サービス。

②尾張商談会

尾張地域を中心とした中小企業の受注機会の増大と新規取引先の開拓を図る。

③メッセナゴヤ

名古屋商工会議所が毎年11月に開催し、多くの来場客で賑わう日本最大級の異業種交流会。



各種商談会、展示会への参加支援

④一宮総合食品フェア

市内食品メーカーが日頃の感謝の意を込めて毎年10月に開催するフェア。

⑤お菓子フェア

いちい信用金庫主催。尾張地方の美味しいお菓子が一堂に集まるフェアで毎年多くの来場客で賑わう。



各種セミナー

■新入社員セミナー

開催日 2019年4月11日、12日

講師 コミュニケーション研修のリベル
代表 近藤 ひろえ 氏

受講者 計94名



■消費税軽減税率対策セミナー

軽減税率制度の概要、キャッシュレス決済、POSレジ、クラウド会計、働き方改革をテーマに全8回開催予定。

■その他

事業計画策定、事業承継、創業間もない方を対象にしたセミナーも開催予定。

プレスリリース実践塾【会員限定】

小規模事業者の新製品や新サービス、イベント告知などのPRを支援するべく勉強会や個別相談を通じPR素材の洗い出しからプレスリリースの添削、発送まで支援する。

内 容 勉強会3回、個別相談会2回

日 時 9月5日(木) 14:00 ~ 16:00 ほか

講 師 株式会社ディービーピーアール
代表取締役社長 堂森 哲雄 氏

受講料 無料



販売促進実践塾【会員限定】

小規模事業者の新たな需要開拓と販路拡大に向け、販路開拓に特化した5回シリーズの実践塾を開催する。

塾では、自社の強みの見つけ方をはじめ、効果的なブログ・チラシ・店内POPの作り方やSNSの活用方法などについて各分野の専門家が講師を担当する。

日時 9月17日（火）、9月24日（火）、10月1日（火）
10月11日（金）、10月15日（火）
いずれも14：00～16：30

講師 オフィスKEYS 代表
中小企業診断士 高木 富美子 氏
ら5名

受講料 無料



9

各種公的制度申請支援

<小規模事業者持続化補助金 申請書作成セミナー&個別相談会>

開催日 2019年3月20日（水）・4月3日（水）
いずれも14：30～16：30

参加者 計43名

相談会 5月8日、9日、10日に実施（15事業所）

<小規模事業者持続化補助金 申請駆け込み寺>

開催日 2019年5月20日（月） 14：00～15：30

参加者 17名

※小規模事業者持続化補助金とは
経営計画に基づいて実施する販路拡大等の
取り組み(チラシの作成・店舗改装・展示会
出展ほか)に対し、原則50万円を上限に補助金
(補助率2/3)が受けられるもの。小規模事業者
が対象。



10

平成30年度補正予算「ものづくり補助金」

国際競争力向上や新産業創出を促すため、中小企業の技術革新や新サービス開発を支援する補助金。試作品や新商品の開発、新サービスの導入、設備投資などを行う中小企業を対象にかかった原材料費、機械装置費、人件費などの費用を補助する。

補助率 2分の1（要件を満たせば3分の2）

補助額 上限1000万円

■ 1次公募 採択結果【発表日 6月28日（金）】

<一宮>		<全国>	
申請数	4件	申請数	14,927件
採択数	3件	採択数	7,468件
採択率	75.0%	採択率	50.0%
企業名	(株)グリュック、片山撚糸(株)、寺沢撚糸(株) ※順不同・敬称略		

11

事業承継支援事業

■ プッシュ型事業承継支援

❖ 事業承継診断

計画的な事業承継準備に対する経営者の「気づき」を促す。

❖ トライアル支援

事業承継に取り組みたい企業の課題解決に事業承継専門家と連携して個別支援

❖ 事業承継セミナーの開催

- ・ 落語で解説する承継セミナー(案)
- ・ 事業承継の出口戦略セミナー(案)

■ 一宮市後継者人材バンク

登録者 23名



12

いちのみや食ブランド推進事業

西尾張地域の農産物または、それらを使用した食品を「いちのみや食ブランド」として認定。PR支援を行う。

- ❖ 現在は 81品目 をブランド認定 (平成31年2月現在)
- ❖ ホームページ、パンフレットをはじめ一宮総合食品フェア等各種イベントで認定商品をPR

＜平成30年度認定商品＞

かすていら、抹茶かすていら
極（きわみ）、巧（たくみ）
のぶさんのなんでもごだれ
尾張桃かぶ
生どら
にん&たまドレッシング
木の芽
Bean to Bar + 福来蜜

